



流行している
手足口病について
教えてください。



手足口病は、
口の中、手のひら、足の裏に、水を持った小さなブツブツ（水疱すいほう）のできる病気で、乳幼児を中心に夏に流行します。原因はコクサッキーとエントロウイルスなどで、潜伏期は3～5日ぐらい。今年は4月頃から増加傾向にあり、かなりの流行が予測されています。

かなりの流行が予測・・・手足口病

なるような飲み物を避けることで十分。潰瘍状態になると、痛みで食事が取れなくなり、さらには飲み物も拒否するようになる。脱水症状になることもあるので、少量ずつでも飲める水分を飲ませましょう。

ほとんどの場合1週間～10日で治癒しますが、ごくまれに脳の合併症を起こすことも。高熱が持続、元気がない、頭痛、嘔吐（おうと）などが見られた場合は医療機関の受診を。

軽い発熱、食欲がない、のどの痛み等で始まり、発熱から2日ぐらい過ぎた頃から、やや周りの赤い小さな水疱が出ます。口の中や舌には、水疱がつぶれ、浅い潰瘍

ができます。お尻、ひざなどに赤いブツブツができることも。口の中の発疹は、通常は軽く、刺激に



子育て相談室

病気が広がるのは、唾液などの飛沫か、または直接接触によります。主な症状がなくなっただ後でも3～4週間は便中にウイルスが排せつされることがあります。急性期の症状がなくなれば、集団生活は可能です。（水戸市中丸町の平野こどもクリニック院長・平野岳毅）

の症状がなくなれば、集団生活は可能です。（水戸市中丸町の平野こどもクリニック院長・平野岳毅）